

(別紙5)

補助事業番号 28-2-005
補助事業名 平成28年度 子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 認定特定非営利活動法人ファミリーハウス

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ファミリーハウスは遠方の自宅を離れて東京都内で治療を受ける子どもとその家族に、経済的負担の少ない滞在場所を提供するだけでなく、トータルケアの一環としての役割も期待されています。

今回のフォーラムでは、英国から小児ホスピスの関係者を招聘し、その運営理念や滞在施設としての緩和ケアのあり方、滞在施設スタッフの専門職としてのノウハウやスキルを学び、滞在施設に求められる、医療依存度の高い子どもとその家族の「ふつうの生活」を支えることができる新たなニーズへの対応を考えました。

(2) 実施内容

<http://archive.familyhouse.or.jp/JKA/2016forum/report/>

- ・ 検討委員会の開催 (2016年4月17日、5月28日、9月10日)
- ・ ファミリーハウス・フォーラム2016開催 (2016年8月7日)



検討委員会 (第1回)



検討委員会 (第2回)

(別紙5)



検討（評価）委員会（第3回）



フォーラム会場の様子



講演されるフランシス・エドワーズ氏

2 予想される事業実施効果

今回のフォーラムで、ファミリーハウスは設立当初から大切にしてきた「患者家族を見守り、家族の自立を支える」という理念の重要性が明確になり、それを医療関係者と共有していたことで、今後の医療関係者と滞在施設の更なる連携強化が期待される。また、「今までにない新しいハウス（理想のハウス）」実現に向けても貴重な一歩となった。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

ファミリーハウス・フォーラム2016報告書

<http://archive.familyhouse.or.jp/JKA/2016forum/report/>



目次

はじめに	1
1 事業概要	4
2 まとめ	7
3 ファミリーハウス紹介 (速読録)	9
認定特定非営利活動法人ファミリーハウス 理事長 江口 八千代	
4 講演I (速読録：翻訳)	13
「英国小児緩和ケアの今～英国小児ホスピスの歩んだ道と、日本への勧告～」 プリストロイヤル子ども病院小児緩和ケアリエゾン 看護師 フランシス エドワーズ 氏	
5 講演II (速読録)	41
「英国小児ホスピスで得たこと ～利用者から見た英国小児ホスピス～」 元シューティンクスターチェイス 理事 ダン 淳子 氏	
6 パネルディスカッション (速読録)	53
(パネリスト) プリストロイヤル子ども病院小児緩和ケアリエゾン 看護師 フランシス エドワーズ 氏 元シューティンクスターチェイス 理事 ダン 淳子 氏 認定特定非営利活動法人ファミリーハウス 理事・事務局長 植田 洋子 (ファシリテーター) 東京慈恵会医科大学医学部看護学科小児看護学 講師 永吉 美智枝 氏	
7 閉会のあいさつ (速読録)	71
認定特定非営利活動法人ファミリーハウス 理事長 江口 八千代	
おわりに	72
資料	
I 発表スライド	77
II 参加者アンケート結果	104
III 告知チラシ	114
IV 当日配布プログラム	117
V 当日設営およびロビーの様子	122
VI ファミリーハウス施設一覧	124
VII ファミリーハウス・フォーラム2016検討委員会 委員一覧	125

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 認定特定非営利活動法人ファミリーハウス

(ニンテイトクテイヒエイリカツドウホウジンファミリーハウス)

住所： 〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-13-5 藤野ビル3階

(別紙5)

代 表 者： 理事長 江口 八千代 (エグチ ヤチヨ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 理事 加納 裕久 (カノウ ヒロヒサ)

電 話 番 号： 03-6206-8372

F A X： 03-3256-8377

E - m a i l： jimukyoku@familyhouse.or.jp

U R L： <https://www.familyhouse.or.jp/>